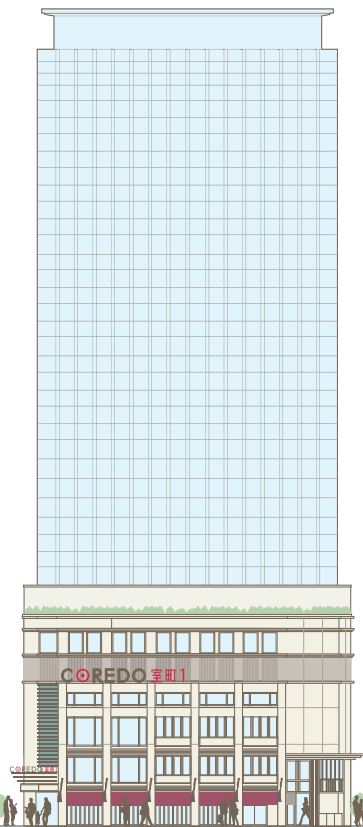
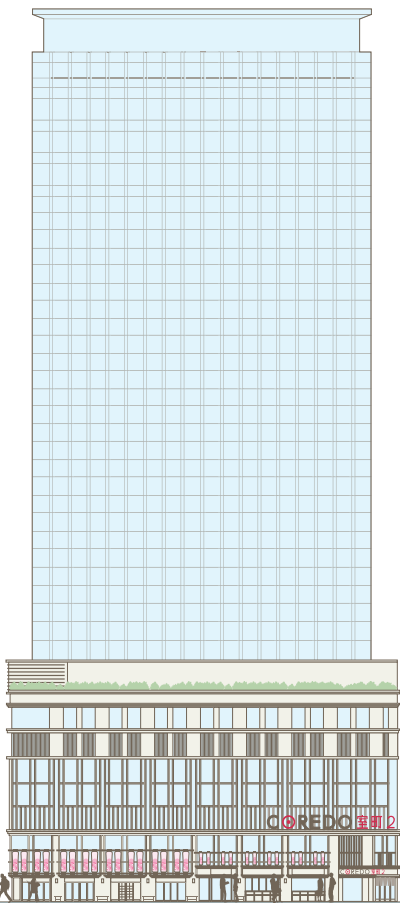
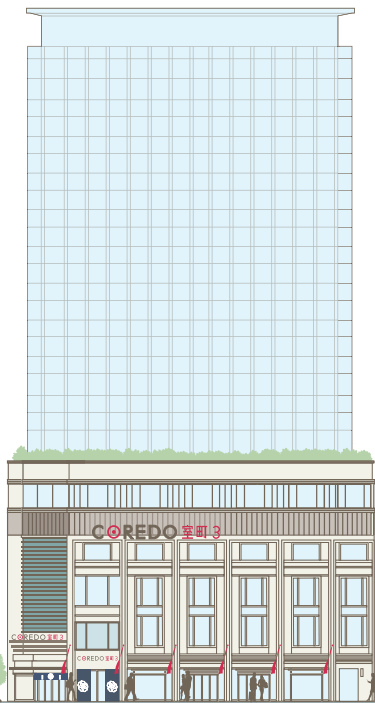


株主の皆様へ

2014年度報告書 2014年4月1日～
2015年3月31日

目次

社長インタビュー	01
特集:イノベーション2017 ステージII(2015～2017) ～2020年代を見据えた成長戦略～	03
当社グループの展開	05
連結財務ハイライト・株式の状況	13
会社概要	14





国内事業競争力の 一層の強化



海外事業の 飛躍的な成長

代表取締役社長 荻田正信

Q 当期（2014年4月1日～2015年3月31日）の事業環境、また今後の経済の見通しについてお聞かせください。

A 当期の日本経済は、消費税増税により一時的な停滞も見られましたが、秋以降は緩やかな回復基調が続きました。2015年度においても、総じて着実な回復が続くことが見込まれます。

2014年4月の消費税増税後に、需要の大幅な反動減が生じたことから一時的な停滞も見られましたが、秋以降は日本銀行による追加金融緩和や円安効果の顕在化等により、緩やかな回復基調が続きました。

当不動産業界におきましては、オフィス賃貸事業については、空室率の改善に加え、都心部を中心に募集賃料も回復の動きを見せ始めました。住宅分譲事業については、消費税増税や建築コスト高騰の影響も懸念されましたが、低金利での融資の継続や政策支援の効果等が個人の購入意欲を後押ししたことにより、総じて堅調に推移いたしました。

今後につきましては、世界経済については、地政学的リスク、米国の利上げが与える影響、原油価格の先行きなどの不確定要因もございますが、日本経済については、緩和的金融環境や雇用環境の改善が続く、企業の設備投資も前向きな動きが見られることから、総じて着実な回復が続くことが見込まれます。

さらに中期的には「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」に向けた社会基盤の整備も進むことから、当社グループを取り巻く事業環境も良好に推移すると想定されます。

このような見通しのもと、2015年度においてもグループ全体のさらなる成長を目指し、鋭意邁進してまいります。

Q 2015年5月にグループ中期経営計画「イノベーション2017 ステージⅡ」を発表しましたが、その背景と目的を教えてください。

A イノベーション2017の後半3カ年を計画として明確化し、「市場を創造しながら成長を続けるリーディングカンパニーであるとともに、グローバルカンパニーとしての地位を確立する」ことを目指します。

当社グループは、2012年度にグループ中長期経営計画「イノベーション2017」を策定し、「成長性と収益性に富んだ三井不動産グループ」の実現を目指し、「国内事業の競争力強化」と「グローバル化への取り組み」を加速してまいりました。

その後3年が経過し、国内においては、現政権による経済政策「アベノミクス」の推進、「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」の開催決定、訪日観光客の急増などによる経済効果が期待される一方、迫り来る本格的な人口減少社会、建築コスト高騰、人手不足の顕在化などの課題も明らかになってまいりました。また、女性、高齢者の社会参画進展や外国人就労者の増加に伴う社会のダイバーシティ化、ICTの加速度的な進化によるワークスタイル・ライフスタイルの変化などがさらに顕著になるものと予想されます。

海外においては、欧米、アジアとも一部に不透明感が見られるものの、総じて堅調な経済成長が見込まれます。一方で、世界的な過剰流動性、地政学的リスクの高まり等、従来想定していなかったグローバルレベルのリスクの顕在化にも備える必要があるものと考えております。

このような見通しのもと、イノベーション2017の後半3カ年を計画として明確化するとともに、2020年代も成長を続ける企業であるため、中期経営計画「イノベーション2017 ステージⅡ」を策定いたしました。

国内事業については、顧客ニーズの変化に対応するために、ハードの提供だけでなく、豊かで快適な時間を過ごすためのサービスもあわせて提供するべく、ビジネスモデルを革新してまいります。すなわち、「不動産のソリューションパートナー」から「ビジネスとくらしのソリューションパートナー」へ進化することにより、競争力を一層強化してまいります。

海外事業については、飛躍的な成長を実現するため、総合デベロッパーとしての当社の強みと、各国のマーケットに精通したパートナーの強みを組み合わせ、安定性と成長性に富んだポートフォリオを構築してまいります。

当社グループは、「市場を創造しながら成長を続けるリーディングカンパニーであるとともに、グローバルカンパニーとしての地位を確立する」ことを目指し、不変の基本戦略である「顧客志向の経営」「ビジネスモデルの革新」「グループ経営の進化」の3つの戦略の実践による価値創造に取り組み、「イノベーション2017 ステージⅡ」の達成に向け、鋭意邁進してまいりたいと存じます。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

イノベーション2017 ステージⅡ (2015~2017)

～2020年代を見据えた成長戦略～

目指す姿

当社グループは、「市場を創造しながら成長を続けるリーディングカンパニーであるとともに、グローバルカンパニーとしての地位を確立する」ことを目指します。

実現のための基本戦略

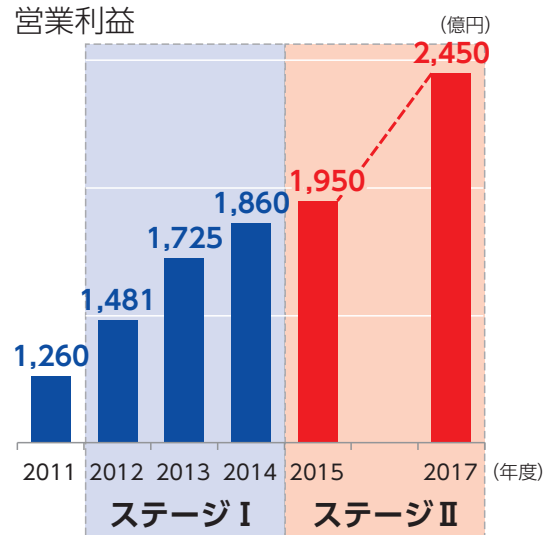


定量目標

利益目標・指標

	2014年度実績	2017年度目標
営業利益	1,860億円	2,450億円以上
海外事業利益 (海外営業利益+海外持分法利益)	120億円	300億円以上
海外事業利益比率	6.4%	12%程度
親会社株主に帰属する当期純利益	1,001億円	1,300億円以上
有利子負債	19,761億円	25,000億円程度
D/Eレシオ	1.1	1.3程度
ROA	4.1%	5%程度
(参考)		
ROE	6.4%	7%程度

営業利益



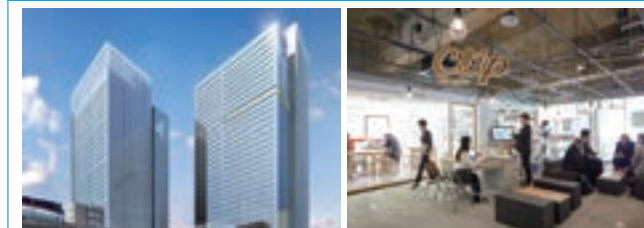
成長戦略

① 街づくりの推進



「ミクストユース化」・「ハードとソフトの融合」を進め、街の価値を最大化

② オフィスビル事業の進化



顧客企業の課題解決に貢献するビジネスパートナーへ

③ 商業施設事業の更なる展開



顧客ニーズの変化に対応し、くらしに欠かせない次世代型商業施設へ

④ 物流施設事業の拡大



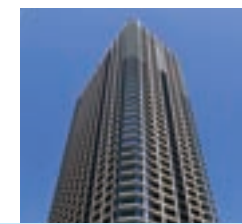
幅広いネットワークを活かした事業規模拡大と物流リートの組成

⑤ 住宅事業の競争力強化

三井のすまいLOOP

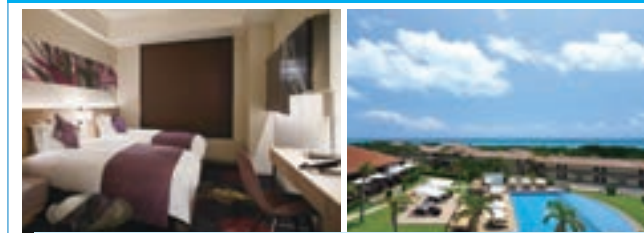
Life Membership Service

三井のすまいモール



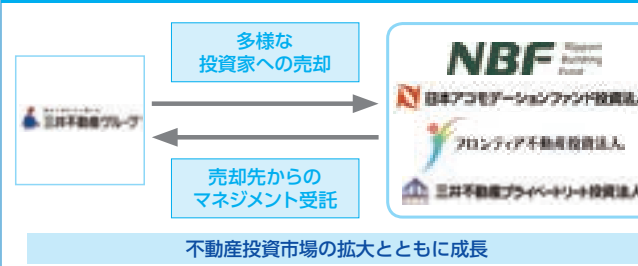
ハードとソフトを融合させたくらしにかかわるサービスの提供をグループ一体で推進

⑥ ホテル・リゾート事業の拡大

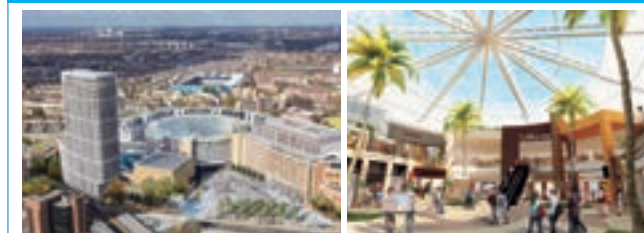


運営ホテル1万室体制へ・アジアを代表するリゾート開発

⑦ 投資家共生モデルの推進



⑧ 海外事業の飛躍的な成長



欧米、アジアのエリア特性を活かした事業展開

オフィスビル事業

「その先の、オフィスへ」～三井のオフィス～

三井のオフィスで働く人々が、より快適で、便利で、そして安心して毎日を過ごしていただけるように、開発から運営・管理までトータルなオフィスビル事業に取り組んでおります。

「(仮称) 新日比谷プロジェクト」着工

2018年 日比谷が再び輝きだす 都心型スマートシティ



「(仮称) 新日比谷プロジェクト」イメージパース (東京都千代田区)

本プロジェクトは、日比谷公園や周辺の劇場・映画館と連携した芸術文化発信や、国内外のベンチャー企業・中小企業の事業拡大および新産業創出などを支援するビジネス連携拠点として、昨年末に東京圏で初となる「国家戦略特区」の区域認定を受けております。

当社は、本プロジェクトを日本橋地区において推進中の「日本橋再生計画」とならぶ都心型スマートシティと位置付け、「国際ビジネス・芸術文化都心『日比谷』の街づくり」を通じて、東京の国際競争力強化に資する取り組みを一層推進してまいります。

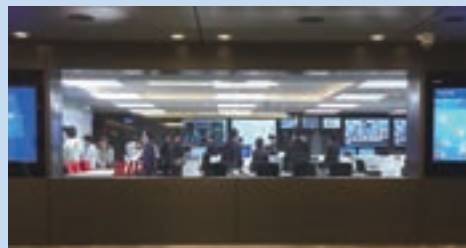


「(仮称) 新日比谷プロジェクト」6階
「(仮称) 日比谷テラス」イメージパース

霞が関ビルディング

防災センターリニューアルにより入居企業と連携強化

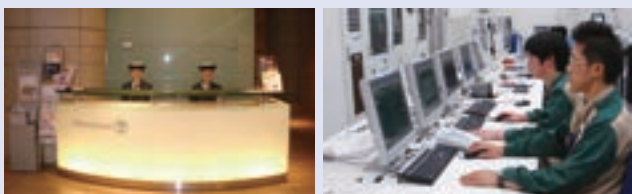
災害発生時に被害を最小限に抑えるには、自助・共助により災害対応力を高め、連携することが大切だといわれています。これまで防災センターは、裏方に徹する形でビルの安心・安全に寄与しておりましたが、オフィスワーカーの一人一人にビルの安心・安全を理解いただくため、防災センターの日々の訓練や活動をご覧いただけるようリニューアルいたしました。今後もハード・ソフト両面でのBCP強化をすすめることにより、「安心・安全、BCPサポート、地域防災への貢献」を行ってまいります。



「霞が関ビルディング」リニューアル後の防災センター (東京都千代田区)

三井不動産ビルマネジメント(株) 三井不動産ファシリティーズ(株)

オフィスビルの運営・管理などにおける豊富なノウハウを活かし、お客様に安全で快適な環境を提供しております。



商業施設事業

「Growing Together」～ひとりひとりの^{いざ}彩られた時間のために～

街、そしてその街に住む人とともに成長していくことで、街の一部として暮らしの中に溶け込み、都市に豊かさと潤いをもたらすコミュニティを創造いたします。

大阪府内初「三井ショッピングパーク ららぽーと和泉」

2014年10月グランドオープン

子育てファミリーに優しい“ママwithららぽーと”

「三井ショッピングパーク ららぽーと和泉」では、当社の‘ママ’社員たちがプロジェクトチームを結成し、子どもと一緒に快適で楽しく過ごしたい等のママたちのショッピングセンターへの様々な期待を、施設づくり・サービスに反映しております。当施設は、これまで「ららぽーと」が目指してきたファミリー対応の集大成として、ママをはじめ、お子さま連れのお客さまが使いやすく過ごしやすい‘オアシス’を目指します。



「三井ショッピングパーク ららぽーと和泉」内観 (大阪府和泉市)

「三井ショッピングパーク ららぽーと富士見」

2015年4月グランドオープン

“人が集まる”から“人が交流する”新しい「ららぽーと」へ



「三井ショッピングパーク ららぽーと富士見」外観 (埼玉県富士見市)

「三井ショッピングパーク ららぽーと富士見」は、「人・モノ・文化が交差する新拠点～CROSS PARK～」をコンセプトに満足度の高いワンストップショッピングを実現する293店舗の出店に加え、建物や敷地の中に留まらない、より地域と一体化した『ららぽーと』です。さらに、当施設はエンターテインメント機能の充実や、「コト」消費とショッピングを融合させた「体感型店舗」を誘致するなど、今後の『ららぽーと』の目指す姿である、“人が集まる”から“人が交流する”新しい『ららぽーと』へと進化し、多様化するニーズや新たなライフスタイルに幅広く応えていきます。

三井不動産商業マネジメント(株)

日本最大級の規模を誇る「三井ショッピングパーク ららぽーとTOKYO-BAY」をはじめとする全国のショッピングセンターの運営実績を活かし、魅力ある商業空間の創造を目指してまいります。



アコモデーション事業

「Best Moments in Life」～人生にかけがえのないひとときを～

賃貸住宅、ホテル、リゾートなど、お客様の視点に立ってさまざまなタイプの居住・滞在空間を付加価値の高いサービスとともに提供いたします。

「ミレニアム 三井ガーデンホテル 東京」2014年12月グランドオープン

訪日外国人を意識した「和」の演出



「ミレニアム 三井ガーデンホテル 東京」外観 (東京都中央区)

世界24カ国で展開する「Millennium & Copthorne Hotels (ミレニアム アンド コプトーン ホテルズ)」と「三井ガーデンホテルズ」の初のダブルブランドであり、「Millennium (ミレニアム)」の日本進出第一号店です。当ホテルは、上質を求めて幅広い層が集う銀座で、新しい「和」の空間を提供します。箒を編んだような外観は「織る (Weave)」と意味が込められており、内装はアジア・ミニマリズムのデザインで表現されたプライベート空間となっております。「銀座」の賑わいの中心にある銀座四丁目交差点近所に位置し、一部の客室からは、銀座を代表する和の文化「歌舞伎座」が見える最高のロケーションを誇ります。

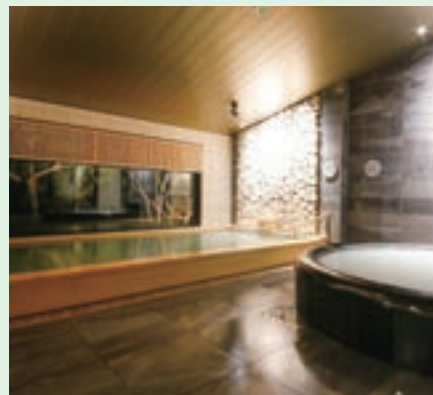


ロビー

「合歓の郷ホテル&リゾート」

恵みの湯「KIYORA」オープン!

合歓の郷ホテル&リゾート (三重県志摩市) の森と海を抱く立地特性を活かし、森と海と大地の恵みを取り込んだ、「合歓の木湯」「真珠の湯」「潮騒の湯」からなる“3つの湯めぐり”を楽しめる宿泊者専用温浴施設「KIYORA」を「ホテル合歓」内にオープンいたしました。「地産地消」の考えをリゾートでの「癒し」に反映する『その土地から生まれたモノで、癒される』“地産地癒”がテーマとなっております。



「真珠の湯」と「潮騒の湯」(女性風呂)

三井不動産住宅リース(株)

「三井の賃貸」ブランドのもと、首都圏を中心に5万戸を超える賃貸住宅を運営し、お客様に快適な生活空間を提供しております。



いちばんに、住む人のこと

(株)三井不動産ホテルマネジメント

三井ガーデンホテルズは、「記憶に残るホテル」を目指し、きめ細やかなホスピタリティ溢れるサービスを提供してまいります。



住宅事業

「すまいとくらしのベストパートナー」～信頼と感動のNo.1ブランドを目指して～

製販一体のバリューチェーンを活かし、多様化するお客様のニーズにきめ細かくお応えするすまいとくらしをお届けいたします。



「GLOBAL FRONT TOWER (総戸数883戸)」

山手線「田町」駅徒歩10分 港区最大規模のマンションプロジェクト

品川駅・田町駅・浜松町駅周辺の「山手線海側」エリアは、「アジアヘッドクォーター特区」に指定されているほか、「リニア中央新幹線計画」をはじめとした、さまざまな都市開発事業が計画されています。このような立地において、本プロジェクトは「港区、山手線海側、都心のウォーターフロント」の地で、『都心で、しかも水辺に住む』という、都心にいながらも水と緑を身近に感じることのできる新しい生活スタイルを提案するとともに、“港区最大規模の免震タワーマンション”として、東京タワーとレインボーブリッジを望む「ダイナミックな眺望」と、災害に備えた「安全性」を追求しています。東京都都心居住型総合設計制度により、敷地面積約10,590m²のうち半分以上にもなる、約5,800m²の広大な公開空地を創出いたします。

「GLOBAL FRONT TOWER」イメージパース (東京都港区)

2020 ふつうの家展～Park Homes EXPO 2014～ 2014年8月開催

「2020 ふつうの家展 ～Park Homes EXPO 2014～」では、ICTと住空間が一体化して、ワクワク楽しいくらしが待っている少し未来の家を想像した展示をご覧いただきました。離れた家族や海外の友達と家の中にいながら日常的に交流できる「ツナガル窓」や料理も工作もナビゲーションやデジタル機器で作れる範囲が広がる「ツクル空間」など、家が人のパートナーのような存在になり、住む人のコミュニケーションをより豊かにしていく展示をお楽しみいただきました。



ツナガル窓

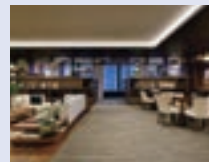
三井ホーム(株)

プレミアム・モノコック構法を基とした「オーダーメイドの家づくり」に取り組んでおります。



三井不動産リフォーム(株)

確かなデザイン力と施工品質に「スマートリフォーム」のコンセプトを加え、サステイナブルなすまいと暮らしを実現します。



三井不動産レジデンシャルサービス(株)

お客様のくらしを豊かにするサービスパートナーとなり、私たちにしかできないマンション管理サービスを提供してまいります。



ロジスティクス事業

近年、より効率の高い物流施設のニーズが高まる中、先進的な物流施設を開発・提供し、多様化する価値観に応えてまいります。



先進的な物流施設「ロジスティクスパーク」の開発を推進

当社は、総合デベロッパーとして培ったグループのノウハウを結集し、付加価値の高い先進的な物流施設の開発を推進しております。当社の3つのコア事業である「保有事業」「開発事業」「マネジメント事業」を物流施設事業においても展開し、それらを事業環境に応じて柔軟に組み合わせ、バランスのよい成長を実現します。



不動産ソリューションサービス事業

豊富な経験と国内外のネットワークをもとに、当社グループの総合的なマネジメント力を活かし、お客様のパートナーとして、ベストソリューションを提供いたします。

交通利便性に優れた大崎エリアに潤いある新たな街「パークシティ大崎」が誕生 官民一体となった街づくり～北品川五丁目第1地区市街地再開発事業～

東京副都心構想を皮切りに、新たなビジネス拠点として大きく進化し続ける大崎エリア。オフィスと商業施設、住宅が共存する街、「パークシティ大崎」（東京都品川区）には目黒川や公園、街路樹といった自然を身近に感じる、潤いある環境が広がります。

2002年には大崎駅から五反田駅にかけての周辺地域が都市再生緊急整備地域の指定を受けました。高い機能性と快適性が共存する先進のビジネスエリアです。

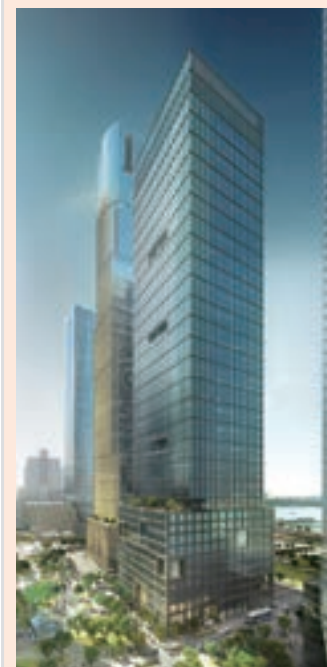


「パークシティ大崎」イメージパース

海外事業

顧客ニーズをグローバルに捉えたソリューションの提供

当社グループは、1972年以来、世界各地でさまざまな事業を展開してきました。欧米におけるビル事業やアジアにおける商業施設・住宅の開発など積極的に取り組んでおります。グループ内外のノウハウや経営資源を活かしつつ、それぞれの事業地域に最も適したクオリティの高い商品とサービスの提供を追求いたします。



「(仮称) 55ハドソンヤード」イメージパース

「(仮称) 55ハドソンヤード」開発事業推進

アメリカで過去最大の民間開発の一画に参画

「(仮称) 55ハドソンヤード」（アメリカ ニューヨーク市）は、オフィスを主要用途とした地上51階建、延床面積約118,000㎡の建物です。当事業はマンハッタンにおける最大級の複合開発である「ハドソンヤード」を構成するオフィスビル群のうちの一棟で、マンハッタンでの日系企業による開発事業の中では、延床面積において過去最大の事業規模となります。当該再開発は近年開発が進んでいるマンハッタン西側に位置しており、合計約11haもの開発敷地をもつプロジェクトで、商業施設、高層分譲および賃貸住宅、高級ホテル、文化施設、学校などによる複合開発です。当事業は、当社の今後の海外事業にとって、ポートフォリオの核となる旗艦物件として位置づけられる開発であり、これを機に三井不動産グループとして海外事業を拡大していくことはもちろん、その事業内容についても、日本で行っている複合的な街づくりのノウハウを、現地事業での付加価値向上に活かしてまいります。なお、竣工は2018年の予定です。



「(仮称) 55ハドソンヤード」ハイラインイメージパース

「三井アウトレットパーク クアラルンプール国際空港 セパン」 「(仮称) 台湾林口アウトレット計画」

2015年に開業

「三井アウトレットパーク クアラルンプール国際空港 セパン」（マレーシア セランゴール州 セパン市）は東南アジアにおける当社グループ初のアウトレットモール事業であり、5月に開業いたしました。最終的には東南アジアにおける最大級のアウトレット施設へと拡張する予定です。また、「(仮称) 台湾林口アウトレット計画」（台湾 新北市）は台湾における当社グループ初の事業であり、台湾北部最大級のアウトレットモール計画です。2015年後半開業予定です。



「三井アウトレットパーク クアラルンプール国際空港 セパン」イメージパース



「(仮称) 台湾林口アウトレット計画」イメージパース

三井不動産グループ 「くらしのトータル・ソリューション」 ～くらしの様々なシーンに豊かさと潤いを～

三井不動産グループは、「共生・共存」、「多様な価値観の連繋」という「&」マークの理念のもと、くらしの様々なシーンに「価値ある豊かさと潤い」をお届けしています。

三井不動産リアルティ(株)



三井のリハウス

●不動産仲介事業

「三井のリハウス」ブランドで全国に展開する個人向け不動産仲介に加え、事業用・投資用不動産仲介、資産家・富裕層向けの資産コンサルティング等、あらゆる不動産ニーズに対応しており、三井不動産リアルティネットワークは28年間連続全国売買仲介取扱件数No.1という確かな実績を積み重ねております。



三井のリパーク

●駐車場事業

土地オーナー様のニーズに合わせた豊富な駐車場形態のメニューをご用意。また、ご利用者様へのきめ細やかなサービスやサポート体制で、土地オーナー様の大切な資産を有効活用するためのさまざまな強みを持っています。
1994年に事業を開始し、現在では北海道から沖縄まで45都道府県で駐車場事業を展開しており、管理台数が16万台を突破しました。今後も駐車場・駐輪場事業を通じて安全で快適な街づくりをサポートしてまいります。

ハレクラニ(株)



ハレクラニ(アメリカ ホノルル市)

●ホテル運営

ワイキキビーチを望む最高級ホテル「ハレクラニ」(453室)とその姉妹ホテルである「ワイキキパークホテル」(297室)を開発・運営しています。ワイキキの静謐なオアシスと称される「ハレクラニ」は1984年の開業以来、日本のおもてなしにも通じるきめ細やかなホスピタリティにより、「Travel & Leisure」[Robb Report]などのメディアから世界有数のリゾートとして評価されています。「ハレクラニ」「ワイキキパークホテル」は帝国ホテルと業務提携し日本での予約業務を委託しています。

東京ミッドタウンマネジメント(株)



東京ミッドタウン(東京都港区)

●不動産の賃貸借、管理、運営に関する業務

「東京ミッドタウン」のイベントプロモーションや商業施設の販促企画などを行うタウンマネジメント業務、建物の施設管理を中心としたプロパティマネジメント業務など、「東京ミッドタウン」の運営・管理業務全般を行っています。

第一園芸(株)



マルチカラー・ブーケ

●装花事業・外商事業

オフィス・商業施設・住宅の空間装飾や造園・緑化のほか、ホテルでのウェディングやパーティーでの装飾、フラワーショップなど、花と緑に関する幅広い業務を行っています。

(株)三井の森



フォレストカントリークラブ 三井の森(長野県茅野市)

●ゴルフ場の運営・別荘地の分譲管理

別荘地の販売・仲介、別荘建築、快適な別荘生活を支える管理業務、蓼科・軽井沢におけるゴルフ場の運営など、「リゾートライフ」を総合的にサポートしています。



新規プロジェクトの紹介

当期竣工ならびに現在鋭意推進しているプロジェクトをご紹介します。



日本橋二丁目地区第一種市街地再開発事業
(2018年度竣工予定/東京都中央区) イメージパース



(仮称)ららぽーと立川立飛
(2015年秋オープン予定/東京都立川市) イメージパース



パークマンション三田綱町ザフォレスト
(2016年3月竣工予定/東京都港区) イメージパース



(仮称)三井ガーデンホテル名古屋
(2017年春オープン予定/愛知県名古屋市中区) イメージパース



アシュトン・チュラシーロム
(2018年3月竣工予定/タイ バンコク市) イメージパース



三井不動産ロジスティクスパーク日野
(2015年10月竣工予定/東京都日野市) イメージパース



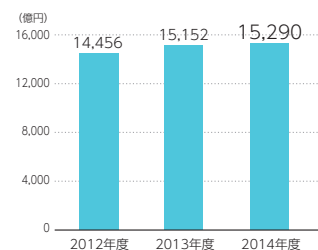
1200 17th ストリート
(2014年9月竣工/アメリカ ワシントンD.C.)

連結財務ハイライト

売上高

15,290億円

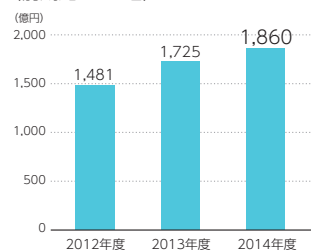
(前期比0.9%増)



営業利益

1,860億円

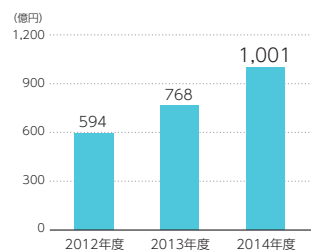
(前期比7.8%増)



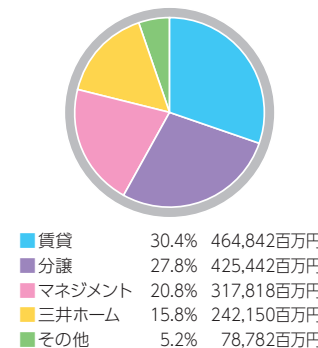
当期純利益

1,001億円

(前期比30.4%増)



セグメント別売上高構成比



連結貸借対照表

(2015年3月31日)

科目	当期	前期
流動資産	1,374,892	1,316,170
固定資産	3,702,255	3,232,651
有形固定資産	2,721,519	2,467,642
無形固定資産	67,113	58,497
投資その他の資産	913,621	706,511
資産合計	5,077,148	4,548,822
流動負債	672,430	846,312
固定負債	2,472,633	2,377,089
うち有利子負債	1,976,150	2,040,071
負債計	3,145,064	3,223,401
株主資本	1,297,159	871,413
その他の包括利益累計額	574,762	402,941
新株予約権	914	823
少数株主持分	59,247	50,241
純資産計	1,932,084	1,325,420
負債・純資産合計	5,077,148	4,548,822

※詳細につきましては、当社ホームページをご覧ください。http://www.mitsui-fudosan.co.jp/corporate/ir/library/er/index.html

連結損益計算書

(2014年4月1日から2015年3月31日まで)

科目	当期	前期
営業収益	1,529,036	1,515,252
営業利益	186,074	172,567
営業外収益	11,263	9,616
営業外費用	33,965	37,596
経常利益	163,373	144,587
特別利益	5,603	13,189
特別損失	2,136	31,066
税金等調整前当期純利益	166,840	126,710
法人税等調整額	61,692	47,034
少数株主損益調整前当期純利益	105,147	79,676
少数株主利益	4,962	2,832
当期純利益	100,185	76,843

株式の状況 (2015年3月31日)

株式の状況

発行可能株式総数	3,290,000,000株
発行済株式の総数	991,424,727株
株主数	33,799名

2014年度 当社配当金

科目	中間配当金	期末配当金
一株当たりの配当金	11円	14円

会社概要 (2015年6月26日)

商号 三井不動産株式会社 Mitsui Fudosan Co., Ltd.
 本社 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町二丁目1番1号
 TEL. (03) 3246-3131 (代表番号)
 支店 関西 北海道 東北 千葉 横浜 中部 京都 中国 九州
 役員体制

設立 1941年7月15日
 資本金 339,766,919千円
 従業員数 1,349名 (2015年3月31日現在)
 ホームページアドレス http://www.mitsui-fudosan.co.jp/

●取締役・監査役

代表取締役会長 岩沙 弘道
 代表取締役社長 菰田 正信
 代表取締役 飯沼 喜章
 取締役 齋藤 一志
 取締役 (非常勤) 松島 正之
 常任監査役 浅井 裕史
 監査役 北原 義一
 監査役 飯野 健司
 監査役 (非常勤) 藤林 清隆
 監査役 山下 徹
 江頭 敏明
 江川 雅子
 西山 晃一
 長谷川 俊明
 加藤 義孝
 真砂 靖

●執行役員

会長執行役員 岩沙 弘道
 社長執行役員 菰田 正信
 副社長執行役員 飯沼 喜章
 専務執行役員 齋藤 一志
 常務執行役員 飯野 健司
 執行役員 藤林 清隆
 執行役員 佐藤 雅敏
 執行役員 中井 省吾
 執行役員 小野澤 康夫
 執行役員 石神 裕之
 執行役員 山本 隆志
 執行役員 船岡 昭彦
 執行役員 植田 俊
 川本 正一郎

●グループ執行役員

グループ上席執行役員 山代 裕彦
 尾崎 昌利
 グループ執行役員 井上 徹
 富川 秀二
 守屋 秀樹

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月
 公告方法 当社ホームページ
<http://www.mitsui-fudosan.co.jp/>に掲載いたします。ただし、やむを得ない事情により電子公告をすることができない場合は、東京都内において発行する日本経済新聞に掲載して行います。

上場金融商品取引所 東京証券取引所
 証券コード 8801
 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
 同連絡先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

(お知らせ)

住所変更、単元未満株式買取増請求、配当金振込指定などを行う場合の受付窓口は、原則として口座を開設されている証券会社等になります。なお、証券会社等に口座がないため特別口座にて管理されている株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行までお問い合わせいただけますようお願いいたします。

単元未満株式をご所有の株主様へ

単元未満株式 (1,000株未満) をお持ちの場合、以下の制度をご利用いただけます。

- 1) 単元未満株式を当社に売却する (買取制度)
- 2) 単元株式 (1,000株) にするため、不足する株数の株式を当社より購入する (買増制度)

お手続きの詳しい内容につきましては、口座を開設されている証券会社等までお問い合わせいただけますようお願いいたします。

なお、特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行までお問い合わせいただけますようお願いいたします。

上場株式配当等の支払いに関する通知書について

配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。

*確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

人と地球がともに豊かになる社会をめざして

&EARTH



都市に豊かさと潤いを

三井不動産

